

特集「社会科学への招待 2023」について

経済学部地域貢献・研究企画委員会

今泉飛鳥・澤井康毅

本誌「社会科学論集」の刊行主体である埼玉大学経済学会は、埼玉大学経済学部の教員だけではなく、学部生や院生、卒業生、学外の研究者等をも含みこんだ知の共同体です。学会の機関誌である「社会科学論集」では、毎号、厳格な審査を経た研究論文を掲載し、会員のみならず、広く社会に研究成果を提供しています。そうしたなかで本特集は、特に学生会員の皆さんに向けて、社会科学の面白さや大学での学びの指針を見出してほしいとの思いから企画されました。

急速に変化する複雑な社会に生きる私たちは、日々、考え、選択し、行動していかなければなりません。そして、自ら判断し行動するそのそれぞれの場面では、各専門分野において磨かれてきた様々な学術的な知識や考察が私たちの支えとなります。しかし、そうした知的蓄積と、それをさらに発展させていくための根本的な思考力は、講義をただ受動的に聴くだけで身につくわけではありません。関心を持った内容について自ら専門書や論文を読み、考え、それを教員や他の学生と共有し、議論する、という主体的な取組みを繰り返すことで初めて、確かな存在として私たち自身の中に根を下ろすのです。大学という環境は、そのような主体的な学びの場として活用してこそ輝きを放ちます。

本特集では、経済分析メジャー、国際ビジネスと社会発展メジャー、経営イノベーションメジャー、法と公共政策メジャーという本学部の4つのメジャーからそれぞれ一人ずつ教員が執筆者となり、社会科学の面白さや学術研究の奥深さを語ります。この特集が、特に新入生をはじめとする学生会員のみならず、学術研究の世界に触れ、上記のような主体的な学びの世界への扉を開ききっかけとなることを願っています。